



ライオンズクラブ国際協会 331-B地区
2024~2025年度



Lions Clubs
International
District 331-B
2024-2025

2024.12
No.627
Kitami Cabinet

ECHO

北見キャビネット [エコー誌]

Contents

- 第2回キャビネット会議報告
- 2024年 夏期YCEキャンプ報告書
- 2024年 レオ合同オータムキャンプを終えて
- クラブ紹介
- 新入会員紹介
- 訃報のお知らせ



第2回キャビネット会議報告

2024-2025年度 ライオンズクラブ国際協会331-B地区

開催日 2024年11月9日(土曜日)

開催場所 ホテルベルクラシック北見

ライオンズクラブ331-B地区・北見キャビネット、第2回キャビネット会議が11月9日(土)、北見市内のホテルベルクラシック北見にて開催されました。地区役員総勢57名が地区内クラブより参加致しました。

地区ガバナーL.伊東隆志の開会宣言並びに開会ゴングで始まったキャビネット会議は、キャビネット報告をはじめ、各地区コーディネーター、各委員会からの報告や審議事項として全7議案が審議され、全議案が承認されました。

その後、質疑応答を経てOSEALフォーラム運営特別委員長L.大島尚久よりOSEALフォーラムについて報告説明、GLTコーディネーター・公益財団法人日本ライオンズ特別委員長L.広瀬寛人よりGLTセミナーの実施、そして公益財団法人日本ライオンズの活動報告がありました。

前回の第1回キャビネット会議と比べ、今回2回目の実施という事もあり皆さんの緊張が解れているせいか質疑応答でも賑わいを見せ、会議終了予定時間を超え大いに実のある会議となりました。

その後の懇親会でもご出席のキャビネット構成員の皆様方々、話題は尽きず豪華な料理とお酒で大変盛上りました。





2024年 夏期YCEキャンプ報告書

前MD331 YCE委員会 運営チームリーダー L.阿 部 昭
331-B地区 YCE委員長 L.浅 野 敬 一



日 程：2024年7月20日（土）～7月26日（金）

場 所：ネパール深川（深川市音江町）

参加者：①YCE生 合計7名 フィンランド（男性1名、女性3名）
スイス（男性1名）
スペイン（男性1名、女性1名）

②標茶高校生 合計4名（生徒女性4名）

③参加ライオン

331-B地区 合計15名（YCE委員会役員及び関係ライオン）

【夏期YCEキャンプ開催までの経緯】

上記の日程で2024YCE夏期キャンプがネパール深川にて開催された。2019年末発生したコロナ感染症の発生によりYCE事業が中断されており、今回は5年振りの開催となった。

331複合地区のYCE委員会は昨年7月から事業年度をスタートした後、一般社団法人日本ライオンズのYCE委員会の動向を踏まえながら、数度に亘るYCE委員会を開催し2024年度夏期YCE受入について検討を始めた。

331B地区のYCE委員会も小林委員長を中心に必要に応じて随時WEB会議（7回）、CAB会議（4回）での委員会を開催した。既にMD331の受入窓口として相手国がフィンランド、スイス、スペインの3ヶ国に決定していた為、早速それぞれ3ヶ国の派遣窓口のYCE担当者と連絡を取り合い、受入時期及び人数も含めて交渉を昨年10月頃から始めた。

MD331の窓口担当者が相手国窓口担当者と数回に亘り受入人数等についてメールでのやり取りを行い、昨年12月頃から具体的な受入人数についてWEB委員会を随時開催し検討を重ねた。また、同時にMD331の受入のホストファミリーについて各準地区ごとにアンケートを11月頃から実施し準地区内のクラブ毎のYCE生の受入について具体的な可否・可能性について調査を行い、各準地区での受入れホストファミリーの数について検討を重ねた。

2月には最終的な国別のYCE生の人数・性別が決定し、WEB会議を開催しABC地区それぞれ



具体的に受入ホストファミリーの選出作業に着手した。また同時に夏期YCEサマーキャンプについてもMD331YCE委員会がキャンプ宿泊施設である「ネパール深川」とスケジュール・キャンプ内容について検討をスタートした。

【MD331 夏期YCEキャンプ内容】

期間は7月20日（土）～26日（金）まで深川市にある「ネパール深川」にて、フィンランド4名、スイス1名、スペイン2名、合計7名のYCE生、並びに標茶高校からの生徒4名が参加して開催された。

① 初日の20日はABC準地区で受入をされたホストファミリーと各地区のYCE委員会の役員がネパール深川までYCE生を送っていただき全員が集合。その後開所式にて当日参加者の紹介、オリエンテーションにて施設利用に関する説明会を行った。夕食後のレクリエーションでは参加したYCE生が各々の自国紹介と自己紹介、標茶高校から参加した生徒による自己紹介を行った。また、伊東ガバナーがご多忙の途中で出席され歓迎のスピーチを英語で行い会を盛り上げて頂いた。

会の最後に、スペインから参加したYCE生がその日が偶然誕生日であった事から委員会でケーキを用意し全員でお祝いし、和やかな雰囲気の中1日目を終了した。（この日のライオンズの参加者は委員会役員を含め14名、うちB地区9名が参加）

② 2日目は施設のカリキュラムで「木のキーホルダー作り」教室を行い、7名のYCE生、4名の標茶高校生が隣同士になって椅子に座り、施設の指導者からの説明を聞きながら各自が好きなデザインを施しながら1時間半ほどでキーホルダーを作製した。午後は体育館でバドミントンやバスケットボールをしながら交流し自由時間を過ごした後、夕方から近くの温泉施設に隣接するバーベキューハウスにてYCE生の歓迎会「ウェルカムパーティ」を開催。YCE生、高校生、そしてYCE役員、参加ライオンが食材を焼きながら賑やかに交流が図られ、企画されたゲームで盛り上がった。歓迎会の最後にはスイカ割ゲームも行い大変な盛り上がり様でその日を終了した。

③ 3日目の午前中は習字教室を開催し、YCE生が椅子に座り慣れない筆を持ちながら、講師からの説明を聞いて隣の高校生からもアドバイスを貰いながら、各自が墨で手を黒くなりつつ習字を体験した。最後に小さい携帯用提灯に自分の好きな文字を書き写して感動していたのが印象的だった。その日の午後は「焼き板作り」教室を開催、施設の指導者の説明を聞きながら板に各自好きなデザインを描き、その後にバーナーを吹き付けてニスを塗って完成させた。この作品も思い出に残る良いお土産品となった様である。

④ 4日目は観光日程で、マイクロバスにて旭川市の旭山動物園を見学。通常は夏休みの混雑が予想されたが当日は朝から雨天であった事が幸いしそれほどの多くの入園者も居ない事もあり動物園を2時間ほど堪能した。その後は近くのレストランで昼食、午後は美瑛の青い池、中富良野町のファーム富田を見学し、ラベンダーや多品種の花々と丘に映える綺麗な景色にYCE生も感動していた様であった。珍しいラベンダーアイスクリーム等も食べファーム内を散策し楽しんだ後に帰途に就いた。

⑤ 5日目は丸一日自由時間とし、YCE生と高校生、ライオンズ役員数名が路線バスで旭川に移動し駅横のイオンショッピングモールでショッピングを楽しんだ。各自が興味のあるお店で立ち止まり、店に寄ってウィンドーショッピング、お土産品も買っていた様である。

日本のショッピングセンターはどんな所なのか？YCE生達はかなり興味深々で色んなお店に立ち寄り、興味のある品物に目をやっていた。午後5時頃には帰りの路線バスに乗ってネイバル深川に帰着した。

2日目のウェルカムパーティで盛り上がった事もあり、色んな話に花が咲いた様で2日目からは毎晩遅くまで部屋でお菓子を食べながら皆で語り合った様である。YCE生も標茶高校生も仲がかなり良くなり、夕食後は毎晩遅くまでYCE生の部屋でキャンプ最後の夜を過ごしたが、この日は夜中遅くまで（午前2時頃まで）YCE生と標茶高校生が様々な話に盛り上がった様である。

- ⑥ 最終日26日は起床し朝食のあと、各自が部屋を清掃、初日の部屋と同じ様にベッドのふとん、毛布を指定通りにたたんで終了。午前9時に迎えに来たバスに乘車し一路札幌に向かい北海道道庁に表敬訪問。生憎、鈴木知事は公務多忙で不在の為、担当部局の部長が対応された。ライオンズ役員との挨拶の後にYCE生の紹介を行い、キャンプ中に体験した事、カリキュラムの作品（焼き板作品、習字した提灯）について説明、担当の部長からの挨拶を聞き、和やかなうちに表敬訪問も終了。

そのあとはホテルのレストランにて第2ホストファミリーを交えて昼食並びにYCE夏期キャンプの解散式を行った。各YCE生からの夏期キャンプ報告、新千歳空港到着時からのDVDビデオの上映、ウェルカムパーティでのスイカ割の写真等を見て話が弾んだ。レストランを出る際にはキャンプ中に親交が深まったYCE生同士で長いハグし涙を流しながらのお別れとなった。そして各YCE生が第2ホストファミリーに連れられてレストランを後にした。

【雑 感】

今回のキャンプはコロナ開けて5年ぶりに開催されたが、コロナ前迄は毎年実施されてきた事業である。YCE事業はライオンズクラブ国際協会の大きなイベントプログラムであり、青少年育成において、前途有望な若い人達にとっても大きな体験型イベントである。そう言う意味で参加する機会を得たYCE生や地元の高校生にとっては何物にも代えがたい「将来への宝」と言っても過言ではない。この体験機会が若者の考えに大きく作用を与える事業でもあります。

今後とも多くの人（ライオンで有る無いを問わず）がこのYCE事業に関わりを以って頂くと大変ありがたいと考えている次第です。

この度の夏期YCEキャンプに関わったライオン、ホストファミリーの方々、関係者に深甚なる感謝と御礼を申し上げ事業報告とさせていただきます。





2024年 夏期YCEキャンプ報告書



2024年 レオ合同オータムキャンプを終えて

帯広レオクラブ会長 レオ 木下 綾乃

5年ぶりに開催したオータムキャンプでしたが、今年度は会長として他クラブの情報を吸収できたらいいなと思う気持ちで参加しました。また、今回は大型のボランティアに3クラブ一緒に参加できるということで、いつもとは違った雰囲気で行動できることにとても期待を持っていました。

合同例会では、昨年の交流会から各クラブがどれだけ課題に対して活動できたか、できなかったかの報告を聞くことができました。我々帯広レオクラブを含め、やはりクラブ会員の拡大についてはまだまだ課題が残っていると感じました。

そして、翌日に行われた北海道障がい者スポーツ大会では、2月に参加したボランティアの経験を活かして行動しようと思気込んで向かいました。前回とは違い、規模も人数も大幅にアップしていて、行動範囲自体はそれほど広くなく、選手の方との交流もあまりないことを残念に思う気持ちもありましたが、身体障がいのある方の介助をしたり、前回と違う経験もできたので、とても良いボランティアに参加できました。

陸上競技を見ていて感じたことは、冬季のオリンピックを含め、身体障がいがあっても知的障がいがあっても、全員同じアスリートだなと感じ、とても刺激を受けました。これからの活動にも、より一層力を入れていきたいなと思いました。





釧路ライオンズクラブ

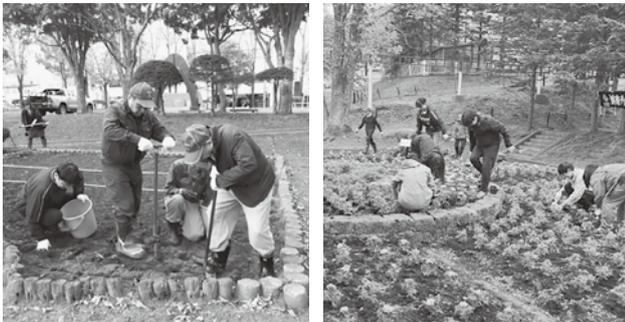
会長 L. 櫻井 正 人

釧路ライオンズクラブは、1957年8月26日に札幌ライオンズクラブのスポンサーにより日本順位56番目、331-B地区1番目に結成されました。

本年度の会長スローガン「仲間を増やし、より求められる奉仕を」をモットーに、会員一丸となって新しい事を色々予定しております。個人でも参加できる献血協力、釧路市内公園等の清掃活動、そして当クラブ全会員のLCIF 献金を行う予定でございます。毎年行っております継続事業ですが、10月には公園の花壇にチューリップの球根を植栽し、来年の6月には、釧路市動物園に1000株以上の花の苗を植栽する予定です。その他、まだ計画の段階ではございますが、新しいアクティビティも例会や理事会の中で意見を出し合い試行錯誤している所です。まずは会員を増やし、地域に貢献できるアクティビティを全会員で知恵をしまり、考えていきたいと思っております。



栄町平和公園チューリップ球根植栽



釧路市動物園花の植栽

標茶ライオンズクラブ

会長 L. 熊谷 一行

標茶ライオンズクラブは、1965年釧路まりもライオンズクラブをスポンサーに発足し、地域40番目のクラブとして誕生。今期で59年を迎えます。

当クラブは全国的な会員減少の中、メンバー一丸となつての「会員増強運動」を事業計画の柱としており、近年は毎年数名の新入会員の増強を達成しています。

主な奉仕事業は、継続事業としては献血推進街頭啓発事業（年4回）、YCE生徒派遣・受入事業、「ライオンの杜・桜植樹」整備事業（継続27年）、新入学児童交通安全学校訪問啓発事業（安全バッグ寄贈）、ライオン文庫図書寄贈（継続49年）などを実施しております。また、昨年より「桜植樹」整備事業には近隣小学校の生徒を誘致し、お手伝いを頂いています。スコップやロープを手に楽しそうに土いじりをしていた児童たちの姿が印象的で、この子たちが故郷の誇りとして桜の木を慈しんでくれるよう、我々も奉仕の心を忘れず努力を続けていかなければならないとの思いを新たにしました。



「ライオンの杜・桜植樹」整備事業



愛別ライオンズクラブ

会長 L. 阿木 潔

愛別ライオンズクラブ 1976年10月にメンバー30名で誕生し、現在も23名で活動しています。

今期のクラブスローガンは「思いやり・奉仕の心でウィサーブ」の活動方針の下で、奉仕活動を行っています。

今期のアクティビティは、献血奉仕活動・春・秋の交通安全キャンペーン・高齢者福祉事業・LC子供文庫事業（図書購入費）・小学新一年生へお祝い品贈呈・桜メンテナンス事業等を行なっています。

特に桜メンテナンス事業は、CN35周年記念事業として、きのこの里パークゴルフ場に植樹したエゾヤマザクラのメンテナンス等を行っています。

また、コロナ過前に利用していた、北海道美深高等養護学校あいべつ校の授業の一環としている、食堂サービスで昼食を利用し、生徒達と交流をしています。

当クラブは、愛別町人口の1%の会員維持し、CN50周年に向けて今後も活動を続けて参りたいと思います。



交通安全キャンペーン



桜メンテナンス事業

東川ライオンズクラブ

会長 L. 小坂 尚志

東川ライオンズクラブは、1978年に旭川大雪ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、今年で47期を迎えました。会長スローガン「いつまでも健康で奉仕活動に励みましょう」を掲げ、クラブ会員の健康と会員継続・地域社会への奉仕活動を行っていきたくと考えております。

クラブ会員の健康としては、春・秋に「パークゴルフ大会」を実施しております。中々人数が揃わず実施できないときもありますが、コミュニケーションを図る機会でもあるためできるだけ実施しております。

アクティビティは例年行っている春・秋の「交通安全啓発運動」や町内の子ども達への支援として、幼児センターへ七夕用品の贈呈、野球・サッカー少年団へ育成費の贈呈・古切手収集など実施しております。地域の子供も達は全国大会に出場するなど素晴らしい活躍をしており、これからも更なる支援を考え、応援していきたくと思います。

今後も今期スローガンの実施に努め、会員増強や会員数の維持を目標とし、ライオンズムの精神のもと奉仕活動を続けていきたくと思っております。



サッカー少年団育成負担金贈呈



幼児センター七夕用品贈呈



交通安全旗交換



音更ライオンズクラブ

会長 L.氏 家 宏 之

音更ライオンズクラブは、1962年（昭和37年）8月21日帯広ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、331-B地区では19番目のクラブとして誕生し、今年で62年目を迎えました。

現在の会員数は44名で、月2回の例会を開いております。

ただ例会の出席率が伸び悩んでいるため、楽しく参加しやすい例会にしようと言う事で、景品が当たる抽選会や会員が会員のためになる情報発表会など工夫を凝らした例会づくりに取り組んでいます。

また主なアクティビティとしまして、献血推進活動、交通安全啓蒙活動、少年野球大会や少年サッカー大会への支援活動、子供たちの音楽会への支援活動などに取り組んでいます。

10月8日のライオンズデーには道の駅おとふけにて、地元の方はもとより、北海道や本州からの観光客の皆さんに、手作りのカエルのキャラクターの交通安全御守り『無事カエル』を500個用意し、無料配布いたしました。

今年の会長モットーは【和と絆】「充実した奉仕活動を目指して」といたしました。60年を超える長きにわたった当クラブを益々盛り上げて、会員一同、地域社会に貢献したいと思っております。



音更サッカーフェスティバル
音更カップU-15



ライオンズデー

羽幌ライオンズクラブ

会長 L.今 隆

北海道の北西、日本海に位置する自然の宝庫、天売島焼尻島を持つ街羽幌町

この町で1962年留萌ライオンズクラブさんのスポンサーを頂き地区内20番目のクラブとしてチャーターメンバー23名により結成され昨年にはチャータナイト60周年記念式典を挙行致しました。

クラブスローガン「楽しく集い ウィ・サーブ!!」の下で今年度のアクティビティは小・中学校で青少年育成声掛け運動をはじめライオンズ杯争奪防犯少年剣道大会、ライオンズ旗争奪留萌管内少年野球大会、49回目累計4,540冊となるライオンズ文庫図書贈呈など青少年育成事業に力を入れながら社会奉仕活動では年4回の交通安全運動、植樹祭などを予定し月1回のアクティビティを計画しています。

LCIFには毎年全会員20ドルを献金し今年度も100ドル献金に手を挙げて頂いている会員もいます。奉仕の心で結ばれた仲間と共に、明るい未来を創造し小さな一歩が、大きな変化をもたらす力になると確信して次の世代に渡せる様CN100周年の夢を見ながら奉仕活動に専念いたしますので準地区の皆様には引き続きご指導の程宜しくお願い申し上げます。



ライオンズ文庫図書贈呈



YE生受入（天売島視察へ）



士別ライオンズクラブ

会長 L. 佐藤 政美

士別ライオンズクラブは、1962年8月に結成されて10月に旭川大雪ライオンズクラブのスポンサーにより認証され62周年を迎えます。士別市は「合宿の里士別」として全国からスポーツ選手が集まり練習を行っております。ライオンズクラブ主催の少年野球大会（若獅子杯）の開催をはじめ各種少年たちのスポーツ大会への支援を行っており青少年育成に力を注いでおります。

11月には毎年青少年育成基金造成ビールパーティーを行い多くの地域の方々に御協力を頂いております。奉仕活動として献血運動、交通安全啓発（人の波旗の波大作戦）など地域のイベント等に参加をして支援しております。今年の会長スローガンは「今日より明日へ 心ひとつで未来へつながろう」を掲げて会員交流としてゴルフ大会パークゴルフ大会や会員家族とクリスマスパーティーを行い親睦深めております。ゾーンは勿論会員も減少するなか地域と連携して会員一丸となり会員増強に取り組み笑顔で未来に向け努力してまいります。



ハーフマラソン大会



献血運動



人の波・旗の波大作戦

置戸ライオンズクラブ

会長 L. 鈴木 栄 樹

置戸ライオンズクラブは、1964年（東京オリンピック年）4月に北見ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、現在は昨年より1名減の12名の会員で活動しています。

今年度はコロナウイルス感染症の影響も少なく、多くの町のイベントが戻りつつあり、奉仕活動も通常年に戻りつつあるのですが、会員の減少、高齢化で思うように活動が出来なくなったように思います。しかしながら、年間活動としては、町内環境美化のため全町一斉に取り組まれる道路等の「全町クリーン作戦」への参加をはじめ、「野生大麻ゼロ作戦活動」「全町植樹祭」「交通安全街頭啓発」「LC杯ゲートボール大会」「新一年生へのランドセルカバー贈呈」等の奉仕活動を継続して行い、地域と共に安心・安全のまちづくりに取り組んでいるところです。

このような活動を行うために欠かせないのがクラブ会員の増強なのですが、本町は人口減少と高齢化が更に進み、非常に厳しい状況に変わりありませんが、置戸LCは、会員の強い絆と高い理想の継続を基本に「We Serve」の精神をもって、今後も「人づくり、まちづくり」に貢献した地域に親しまれる事業継続に取り組んで参ります。



ランドセルカバー贈呈



町内クリーン作戦



湧別ライオンズクラブ

会長 L. 関野 一良

設立 昭和52年(1977年)5月
 スポンサークラブ 紋別ライオンズクラブ
 設立時会員数 26名(現在18名・平均年齢72歳)
 アクティビティ 「少年野球大会」
 「小学生バレーボール大会」主催
 「上野カップ柔道大会」協賛
 高齢者施設慰問
 (オホーツク園・湖水の森・湧愛園)
 障害者施設慰問(ポレポレゆうべつ)
 「献血呼掛け」

親睦行事 「カニ例会」(5月)
 「エビ例会」(6月)
 「カキ例会」(10月)
 「忘年会」「新年会」

例会 第2水曜日(お食事リボン)
 第4水曜日(居酒屋レストラン倅せ)

現状と課題

高齢化により体を使うアクティビティが厳しくなり、12年間続けてきた花壇整備ボランティアを昨年度で終了しました。長年会員が集まりやすい雰囲気づくりに努めまいりましたが、2階の例会会場までの階段の昇り降りに窮する会員が増えており、今後の存続に黄色信号が点灯している状態です。引き続き新規入会の呼びかけを続けていきます。



少年野球大会



ポレポレゆうべつ慰問訪問

紋別オホーツクライオンズクラブ

会長 L. 岸 豊光

紋別オホーツクライオンズクラブでは、新型コロナウイルスの5類移行に伴い例会・事業のあり方にも元の活気が戻りつつあります。

ライオンズクラブの活動を市民に知っていただくため、もんべつ港まつりに3日間の出店を昨年より行っており、会員相互の親睦にも繋がっています。

各福祉園への慰問交流、他の団体との赤い羽根共同支援、交通安全の啓発活動、献血協力活動を行なっています。

現在、青少年育成事業については検討中です。



資金獲得事業



網走ライオンズクラブ

会長 L. 立 崎 聡 一

網走ライオンズクラブは、1962年北見ライオンズクラブのスポンサーにより、全国453番目331-B地区18番目のクラブとして、18名のチャーターメンバーのご尽力により誕生いたしました。

以来、スポンサークラブならびにブラザークラブ、そして地域の皆様の温かいご理解とご支援を頂き、現在43名のメンバーで元気に活動しております。

今年度、網走ライオンズクラブ会長スローガンは『まず、出席！ライオンズ！』を掲げ、出席率70%以上を目標にし、『出席なくして奉仕なし』をモットーに多くのメンバーで例会・アクティビティを企画、実施しております。

現在まで『社会を明るくする運動』の参加をはじめ、37回目を迎えた『網走ライオンズクラブ杯争奪少年野球大会』の主催、『オホーツク網走マラソン2024』のお手伝い、『山下通歩道ゴミ拾い清掃』の実施を多数のメンバーで行っております。

その様な中で、8月23日に初めての試みとなった美幌ライオンズクラブと合同例会を網走市内で開催し、ブラザークラブとの交流を深める事が出来ました。

また、当クラブにはゴルフ同好会・そば打ち同好会・カラオケ同好会もあり、今年から新たにMJ同好会（健康麻雀）・グルメ同好会も加わり、例会やアクティビティ以外での集う機会をより増やして、世代を超えて楽しく活動を広げております。



オホーツク網走マラソン2024



山下通歩道ゴミ拾い清掃



社会を明るくする運動参加



第37回網走ライオンズクラブ杯争奪少年野球大会





奉仕の志を抱いて入会された新会員をご紹介します

①入会年月日 ②生年月日 ③勤務先または職業 ④役職
10月31日までの受付分を掲載しています



お ぜき ふみ ひろ
L.尾関文浩

2R2Z 富良野ライオンズクラブ

- ①2024年9月
- ②1983年1月3日(41歳)
- ③創作居酒屋シーすりー



こ ばやし しん いち
L.小林伸一

4R3Z 猿払ライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1974年4月4日(50歳)
- ③鬼志別郵便局
- ④局長



なか やま さつき
L.中山さつき

2R2Z 上富良野ライオンズクラブ

- ①2024年9月
- ②1985年5月15日(39歳)
- ③山本建設(株)
- ④総務部 部長



みなみ せい ご
L.南清吾

5R1Z 北見ライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1981年3月28日(43歳)
- ③ALSOK北海道(株)北見支社
- ④支社長



きく ち ゆ み
L.菊池由美

3R2Z 帯広平原ライオンズクラブ

- ①2024年9月
- ②1967年8月10日(57歳)
- ③有ゆう天
- ④代表取締役



おち あい まさ あき
L.落合正章

5R1Z 遠軽ライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1974年3月8日(50歳)
- ③(株)北翔サポート
- ④代表取締役



た なか やす のり
L.田中康則

4R1Z 羽幌ライオンズクラブ

- ①2024年9月
- ②1968年2月8日(56歳)
- ③藤森電設(株)
- ④代表取締役



はやし ひで かず
L.林秀和

5R1Z 遠軽ライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1971年6月23日(53歳)
- ③(有)林牧場
- ④代表取締役



いま の たけ いち
L.今野岳一

5R1Z 北見ライオンズクラブ

- ①2024年9月
- ②1971年10月3日(52歳)
- ③(株)サンユニフォーム
- ④代表取締役社長



やま ぐち みつ ひろ
L.山口光浩

5R1Z 北見白樺ライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1971年4月4日(53歳)
- ③社会保険労務士 やまぐち事務所
- ④代表



おお いずみ ひろ と
L.大泉博人

1R1Z 釧路みなとライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1980年7月1日(44歳)
- ③そば処 如月
- ④代表



まつ のぶ さとし
L.松信聡

5R2Z 網走ライオンズクラブ

- ①2024年10月
- ②1966年8月31日(58歳)
- ③社団医療法人明生会 介護老人保健施設あるかざる
- ④施設長



謹んで哀悼の意を表しお悔やみ申し上げます



いの うえ ただ のり
故 L.井 上 忠 憲 **1R2Z** 釧路ゆうやけライオンズクラブ
2024年9月25日逝去 (享年74歳)

2009年11月 入会
2012-2013 第二副会長
2014-2015 第一副会長
2016-2017 第二副会長

故L.井上忠憲は、釧路ゆうやけライオンズクラブ結成の平成21年11月に入会されたチャーターメンバーです。長きにわたり、当クラブの奉仕活動に献身的にご尽力されました。クラブでは、第一副会長などを歴任されています。

以前からご病気をされているとの事でしたが、突然のご訃報を受け、誠に残念でなりません。近い方のお話では、大変人情味あるお人柄だったとの事です。

これからも指南役として、ご指導いただきたかった気持ちもごさいますが、故L.井上の遺志をしっかりと引き継ぎ、より一層社会奉仕に精進してまいります。

ここに感謝の思いを申し上げ、会員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

釧路ゆうやけライオンズクラブ会長：L. 宮井 一之



やま だ みち お
故 L.山 田 道 夫 **3R1Z** 浦幌ライオンズクラブ
2024年10月10日逝去 (享年84歳)

2004年3月 入会
2006-2007 会長
2009-2012 幹事
2014-2017 会長
2017-2018 幹事
2018-2019 副会長
2019-2020 会長

故L.山田道夫は2004年に入会し、以来20年に渡りクラブ運営の中心人物として、精力的に奉仕活動に取り組みました。この間、会長を4度歴任され浦幌ライオンズクラブ発展の礎を築いていただきました。また例会、アクティビティは毎回必ず参加し我々会員の模範となる姿をいつも見せてくれました。お酒を飲むことが好きで、年忘れ例会などのお酒の席では一緒に日本酒を飲み交わし楽しく時間を過ごせたのは良き思い出です。ライオンズの活動以外にも多くの役職を担い多忙のL.山田道夫でしたが、いつも謙虚に感謝の気持ちをいつも言葉にしていました。そんなL.山田道夫を失ったことは非常に悲しく残念でなりません。これからは残された会員が一人となって意思を受継ぎ社会奉仕に努めてまいります。20年の社会奉仕のご努力とその功績に深く敬意と感謝を捧げ追悼の言葉といたします。

浦幌ライオンズクラブ会長：L. 水澤 一廣



しも だ てつ お
故 L.下 田 悌 津 夫 **4R2Z** 名寄ライオンズクラブ
2024年10月11日逝去 (享年87歳)

1976年11月 入会
1978-1979 会計
1981-1982 会計
1991-1992 幹事
1996-1997 会長
1999-2000 限リジョン・チェアマン
2004-2005 名寄キャビネット運営委員長
2022-2023 士別キャビネット地区監査

故L.下田悌津夫は、入会以来、会員との調和・融合を重んじ悠然且つ真摯に奉仕活動に取り組んでこられました。

会員委員長・財務委員長・会則付則指導力育成委員長等を主に務められ、会員増強・維持に積極的に取組み、若手会員の指導にも熱心にあたるなどクラブの発展に大きく寄与されました。豊かな知識を備え悠揚な物腰で全ての会員から慕われ、クラブの重鎮的存在で正に、下田L.こそ「ライオンと呼ばれる人」でありました。

税理士事務所を経営され、多くの公職に就かれ、ゴルフ・ボウリングを愛し公私共に信望厚く、生前のご労苦とご功德に改めて敬意と感謝を申し上げます。

この度の訃報は誠に残念至極ですが、今後は会員一同その尊い志を受け継ぎ、更なる精進に励むことを誓い合った次第でございます。

衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

名寄ライオンズクラブ会長：L. 井上 幸人



お ざわ やす ゆき
故 L.小 澤 康 之 **4R2Z** 士別ライオンズクラブ
2024年10月19日逝去 (享年98歳)

1978年9月 入会
1985-1986 会長(劍淵LC)
2003-2004 創立25周年記念式典
大会実行委員長
2004- 終身会員
2024年3月 士別LCへ転入

L.小澤康之は、1978年9月28日士別ライオンズクラブのスポンサーにより結成された劍淵ライオンズクラブのチャーターメンバー35人の1人でありました。

2023年12月末に劍淵ライオンズクラブが解散し、その後2024年3月1日に士別ライオンズクラブに転入されました。

ご生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意をメンバー全員でご冥福をお祈り申し上げます。

L.小澤康之の奉仕と友愛の心、いつまでも！

士別ライオンズクラブ会長：L. 佐藤 政美

◆ 会員増強状況

2024年10月度

	期首	前月末	入会		退会		今月末		比較	
			当月	累計	当月	累計	当月	期首	累計	
クラブ数	69	69	0	0	0	0	69	0	0	
会員数	1,896	1,917	7	51	7	30	1,917	21	0	



◆ アクティビティ活動報告

項目	件数		実績
金額アクティビティ	111件		6,584,767円
労力アクティビティ	127件		1770.5H
献血アクティビティ	26件	動員数 890人	317,400cc
使用済み切手			4,638枚
献眼登録アクティビティ			0人
献眼アクティビティ			0人
献腎登録アクティビティ			0人
献腎アクティビティ			0人

◆ レオクラブ会員数

釧路レオクラブ	13名
帯広レオクラブ	6名
オホーツクレオクラブ	8名

◆ リジョン別会員数

リジョン名	Z数	クラブ数	平均出席率%	R				会 員 種 別										
				会員数	1Z	2Z	3Z	正会員	不在会員	名誉会員	終身会員	優待会員	賛助会員	準会員	子家族会員	子家族会幹	女性会員	
1	2	10	80	315	140	175		312	0	0	2	1	0	0	71	244	75	
2	2	14	72.4	369	180	189		358	1	0	10	0	0	0	12	357	40	
3	2	16	75.9	354	186	168		344	0	0	2	1	7	0	33	321	51	
4	3	14	68.7	450	169	105	176	434	0	0	16	0	0	0	80	370	104	
5	2	15	80.4	429	250	179		414	0	1	9	5	0	0	41	388	69	
計	11	69	75.5	1,917	925	816	176	1,862	1	1	39	7	7	0	237	1,680	339	

北見キャビネットシンボルマーク コンセプト



331-B地区から、小さなハーブが芽生えました。皆様にさわやかな風をお届けしたいと思います。

表紙写真

「ホワイトイルミネーション」



写真提供：北見中央LC L野脇 弘

ECHO

エコー(第627号)2024年12月号

1965年(昭和40年)9月10日創刊

◆発行日 2024年(令和6年)12月

◆発行 2024-2025年度

ライオンズクラブ国際協会331-B地区
北見キャビネット事務局

〒090-0024

北見市北4条東4丁目3 伊東ビル3F

TEL:0157-33-4445 FAX:0157-33-4446

E-mail:kitami-cab@hyper.ocn.ne.jp

◆編集 331-B地区 MC・IT委員会